

25	オリンピック・パラリンピック準備局	障害者スポーツの振興
事業概要	<p>「東京都障害者スポーツ振興計画」（平成24年3月策定）に基づき、障害のある人もない人も、誰もがスポーツに親しむ「スポーツ都市東京」を目指して、地域での環境整備を重点に据えながら、障害者スポーツの情報発信・普及啓発や障害者スポーツへの取組体制の強化も着実に促進するとともに、東京2020パラリンピックに向け、競技団体の基盤強化や選手の競技力向上策に取り組んでいる。</p>	
これまでの経過	<p>「東京都障害者スポーツ振興計画」に基づき、以下の「3つの視点」により事業を実施してきた。</p> <p>1 障害者スポーツを広め、障害のある人に対するスポーツ活動への円滑な導入を促進</p> <p>(1) 都内の障害者スポーツイベント情報や、公共スポーツ施設のバリアフリー情報等を掲載した障害者スポーツ専門ポータルサイト「TOKYO障スポ・ナビ」を運営。</p> <p>(2) 障害のある人もない人も共に楽しめる参加体験型スポーツイベント「チャレスポ！TOKYO」の開催</p> <p>(3) 障害者スポーツの躍動感あふれる映像や、障害者アスリートのインタビューなど、障害者スポーツの魅力を伝える映像「Be The HERO」を作成・配布</p> <p>2 障害のある人が地域でスポーツ活動を継続できる環境を整備</p> <p>(1) 障害者スポーツ事業のノウハウを持つ地域開拓推進員が、区市町村や地域スポーツクラブ等を訪問し、事業の企画・実施を支援することで、身近な地域でスポーツを楽しめる環境を創出</p> <p>(2) 区市町村が主体的に取り組む障害者スポーツ事業の支援をすることにより、身近な地域で継続的にスポーツを楽しめる環境を拡大・整備</p> <p>(3) 障害のある人のスポーツ施設利用に際して、施設管理者が配慮すべき点等をまとめた「障害者のスポーツ施設利用促進マニュアル」を作成・配布</p> <p>(4) 区市町村職員やスポーツ推進委員等を対象にセミナーを開催し、地域の障害者スポーツ事業を支える人材を育成</p> <p>(5) 障がい者スポーツ指導員養成講習会を通じて障害者スポーツの現場で実際に指導・支援にあたる人材を養成し、地域における障害者スポーツの取組を促進</p> <p>(6) 区市町村等が実施する障害者スポーツ事業の情報を収集し、障がい者スポーツ指導員等に対して、情報誌『S&amp;S』として定期的に情報提供を行うほか、活動経験が少ない、又は活動にブランクがある指導員等を対象とした「リ・スタート研修会」及び障がい者スポーツ指導員等が一堂に会する「障害者スポーツフォーラム」を開催し、障害者スポーツを支える人材の活動活性化を促進</p> <p>3 障害者スポーツへの取組体制を強化</p> <p>(1) 全国障害者スポーツ大会での東京都選手の活躍を目標に、正式競技の強化練習会を開催し、選手の競技力を強化</p> <p>(2) 東京都障害者スポーツ大会を実施すると共に、東京都障害者スポーツ大会・関東ブロック予選会等を経て選出された選手や役員で構成される選手団を、全国障害者スポーツ大会へ派遣</p> <p>(3) パラリンピック等の国際舞台で活躍する障害者アスリートを輩出するため、「パラリンピック選手発掘プログラム」を実施</p> <p>(4) 都における障害者競技団体の自主的な活動を拡充させ、選手の競技力向上を図ることを目的に、競技団体に対して補助を実施</p>	

<p>現在の進行状況</p>	<p>「東京都障害者スポーツ振興計画」に基づき、引続き上記の事業を着実に実施するとともに、平成 28 年度は新たに以下の事業に取り組んだ。</p> <p>1 障害者スポーツを広め、障害のある人に対するスポーツ活動への円滑な導入を促進 東京 2020 パラリンピックを 4 年後に控え、障害者スポーツの更なる振興及びパラリンピックの魅力の発信のため、テレビ等のメディアを通じて障害者スポーツの魅力を発信する観戦促進事業を実施するとともに、パラスポーツを応援するファンサイト「TEAM BEYOND」を立ち上げた。</p> <p>2 障害のある人が地域でスポーツ活動を継続できる環境を整備 (1) 建設から 30 年近くが経過し、施設の老朽化が著しい東京都障害者総合スポーツセンター及び東京都多摩障害者スポーツセンターについて、劣化診断結果や利用者ニーズ等を踏まえ、今年度から順次改修工事を進めていく。 (2) 「障害者スポーツコンシェルジュ」を設置し、障害者スポーツの支援に取り組む企業と競技団体や選手をつなぐ取組を行っている。 (3) 「障害者スポーツの環境整備に向けた実務者会議」を設置し、地域における障害者スポーツの環境整備に向けた連絡調整を図っている。 (4) 都内にある都立特別支援学校の体育館やグラウンド等の体育施設を、学校教育活動に支障のない平日の夜間や土日祝日に開放し、障害のある方や障害者スポーツ競技団体等が身近な地域でスポーツ活動ができるように活用を促進する「都立学校活用促進モデル事業」を実施している。</p> <p>3 障害者スポーツへの取組体制を強化 (1) 東京 2020 パラリンピック等への出場が期待される選手を都の強化選手として認定し、海外遠征費や競技用補装具の購入費などを補助して支援 (2) 障害者スポーツの試合機会の増加により、選手の競技力向上及び競技団体の大会運営能力向上を図るため、競技団体等が主催する、IF 等の公認大会の開催を支援</p>		
<p>今後の見通し</p>	<p>2020 年東京パラリンピック大会と 2020 年大会後のレガシーを見据え、障害者スポーツ振興をより一層加速させるため、パラリンピック及び障害者スポーツに関する事業を所管する組織を新たに局内に立ち上げ、障害者スポーツの情報発信・普及啓発、場の整備や人材育成により一層取り組んでいく。</p> <p>また、試合機会の増加による選手の競技力向上や、競技団体の大会運営能力の向上を図るため、都内で IPC 等の公認大会開催に取り組む競技団体を支援する等、引き続き障害者スポーツの競技力向上に取り組んでいく。</p> <p>東京ゆかりの選手層の底上げを図るため、競技歴は比較的浅いものの、今後の成長が期待できる選手に対し、基礎能力の習得に向けた育成への取組を実施する。</p> <p>また、障害者スポーツ団体の運営基盤強化に向け、ビジネススキルや専門知識を有した企業人等のボランティア活動である「プロボノ」を活用し、広報や経理分野等で課題解決を図る。</p>		
<p>問い合わせ先</p>	<p>オリンピック・パラリンピック準備局 スポーツ推進部調整課</p>	<p>電話</p>	<p>(東京都障害者スポーツセンターの改修に関すること) 03-5320-7802</p>
	<p>オリンピック・パラリンピック準備局 パラリンピック部障害者スポーツ課</p>	<p>電話</p>	<p>03-5320-7729</p>